令和4年度大阪府生野聴覚支援学校 学校教育自己診断 結果分析

1 結果分析の手法

- (1) 学校教育自己診断の項目は、府教育委員会の「自己診断実施上の留意点」に基づき、府教委が要項で定める学校教育自己診断の内容（必須項目）と本校独自の項目を付加した内容で診断票を作成し、児童生徒、保護者、教職員を対象に実施した。
診断項目については、昨年度結果と比較できるように同じ内容で実施した。
回答は「1 (A) : よくあてはまる」「2 (B) : ややあてはまる」「3 (C) : あまりあてはまらない」「4 (D) : 全くあてはまらない」とした。
- (2) 集計に当たっては、肯定的な回答【A+B】（肯定率）、否定的な回答【C+D】（否定率）、無回答（無回答率）に分類し、顕著な数値を網掛けで表示するとともに、前回結果と比較できるようにその差を変化ポイントとして表記した。
- (3) 回収率は、児童生徒 98.3%、保護者 72.6%、教職員 100%であった。

2 児童生徒 結果分析

(1) 小学部児童

- 肯定率の全体平均は78.6%で、前回の82.3%より3.7ポイント減少した。否定率の全体平均は17.9%で前回の10.9%より7ポイント増加した。
- A回答だけで60%を超えた項目は4項目に増加した（前回9項目）。「2 なかのよいともだちがいる。」(71.1%)、「5 先生は、わたしががんばったことを分かってくれる。」(65.8%)、「11 行事は、楽しい。」(86.8%)、「12 近くの学校や地域の人の交流は、楽しい。」(68.4%)、
- D回答だけで20%を超えた項目はなし（前回1項目）。
- 肯定率が90%以上の項目は1項目に減少した（前回4項目）。「11 行事は、楽しい。」(94.7%)
- 否定率が20%以上の項目は7項目に増加した（前回1項目）。「4 話したり、相談したりできる先生がいる。」(23.7%)、「6 べんきょうは、分かりやすい」(23.7%)、「7 学校では、大きくなった時のことを考えるべんきょうがある。」(34.2%)、「8 命の大切さや生活のルールについてべんきょうしている。」(28.9%)、「9 先生は、みんながなかよくできるように、考えてくれている。」(26.3%)、「13 給食の時間は楽しい。」(21.1%)、「14 先生は、いじめで困ったときに助けてくれる。」(26.3%)
- 前年度比較で、肯定率が10ポイント以上増加した項目は、1項目だった。「12 近くの学校や地域の人の交流は、楽しい。」
- 前年度比較で、否定率が10ポイント以上増加した項目は、6項目だった。「3 先生は、わたしの心や体のことを分かってくれている。」、「4 話したり、相談したりできる先生がいる。」、「7 学校では、大きくなった時のことを考えるべんきょうがある。」、「8 命の大切さや生活のルールについてべんきょうしている。」、「9 先生は、みんながなかよくできるように、考えてくれている。」、「14 先生は、いじめで困ったときに助けてくれる。」

(2) 中学部生徒

- 肯定率の全体平均は85.1%で前回の77.4%より7.7ポイント増加した。否定率の全体平均は12.5%で前回の20.9%より8.4ポイント減少した。
- A回答だけで60%を超えた項目は5項目に増加した（前回3項目）。「2 なかのよい友だちがいる。」(73.9%)、「2 先生は、わたしの障がいについてよく理解してくれている。」(60.9%)、「11 行事は、楽しく参加

できる」(60.9%)。「14 先生は、いじめについて 私たちが 困っていることがあれば 真剣に対応してくれる。」(65.2%)「16 部活動は、楽しく参加できる。」(73.9%)

- 肯定率が90%以上の項目は4項目に増加した(前回2項目)。「2 なかのよい 友だちがいる。」(100%)、「10 地震や火災などが おこった時、どのような行動をとればよいか、分かりやすく 知らされている」(100%)「11 行事は、楽しく参加できる。」(91.3%)「16 部活動は、楽しく参加できる。」(95.7%)
- 否定率が20%以上の項目は3項目に減少した(前回7項目)。「4 気軽に相談できる先生がいる」(26.1%)、「12 近くの学校や 地域の人々との交流は、楽しい。(部活動の交流を含む)」。(21.7%)、「13 給食の時間は 楽しい。」(21.7%)
- 前年度比較で、肯定率が10ポイント以上増加した項目は4項目だった。「4 気軽に相談できる先生がいる」、「8 命の大切さや 社会のルールについて 学習している。」、「12 近くの学校や 地域の人々との交流は、楽しい。(部活動の交流を含む)」、「15 部活動は、楽しく参加できる。」
- 前年度比較で、否定率が10ポイント以上増加した項目はなし。

3 保護者 結果分析

(1) 幼稚園保護者

- 肯定率の全体平均は92.1%で前回の94.9%から2.8ポイント減少した。否定率の全体平均は4.0%で、前回3.2%から0.8ポイント増加した。
- A回答だけで60%を超えた項目は6項目に減少した(前回15項目)。「2 学校は、教育方針や課題を分かりやすく伝えている。」(62.2%)、「3 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。」(62.2%)、「5 学校は、子どもの聴覚障がいの状態を 理解している。」(81.1%)、「6 学校は、子どもの学習状況や努力を 適切・公平に評価している。」(67.6%)、「10 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」(67.6%)、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(91.9%)
- 肯定率が90%以上の項目は11項目に減少した(前回16項目)。「2 学校は、教育方針や課題を分かりやすく伝えている。」(94.6%)、「3 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。」(91.9%)、「4 学校は、子どもの課題にあった授業をしている。」(94.6%)、「5 学校は、子どもの聴覚障がいの状態を 理解している。」(91.9%)、「6 学校は、子どもの学習状況や努力を 適切・公平に評価している。」(97.3%)、「7 学校は、保護者の悩みや相談を聞いてくれる。」(97.3%)、「9 学校は、家庭と連携して指導にあたっている。」(94.6%)、「11 学校は、安全面で施設、設備の環境整備を行っている。」(97.3%)、「12 学校の幼児児童生徒指導の方針に共感できる。」(94.6%)、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(100%)、「15 子どもは給食を楽しみにしている。」(91.9%)
- 否定率が20%を超える項目はなかった(前回もなし)。
- 前年度比較で、肯定率が10ポイント以上増加した項目はなかった。
- 前年度比較で、否定率が10ポイント以上増加した項目はなかった。

(2) 小学部保護者

- 肯定率の全体平均は86.8%で、前回の77.3%から9.5ポイント増加した。否定率の全体平均は12.0%で前回の17.8%から5.8ポイント減少した。
- A項目だけで60%を超えた項目は2項目に増加した(前回1項目)。「3 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。」(64.3%)、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(75.0%)
- 肯定率90%以上の項目は、4項目に増加した(前回3項目)。「1 学校は、体罰防止にとりくんでいる。」(92.9%)、「10 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」(100%)、「11 学校は、安全面で施設、設備の環境整備を行っている。」(96.6%)、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(100%)
- 否定率が20%を超える項目は4項目に減少した(前回9項目)。「8 学校は、教育に必要な情報を 知ら

- せる努力をしている。」(20.7%)、「14 学校は、将来のことや進路などについて 適切な指導を行っている。」(27.6%)、「15 子どもは、給食を楽しみにしている。」(24.1%)、「17 学校は、いじめについて 子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」(20.7%)
- 前年度比較で、肯定率の変化が 10 ポイント以上増加した項目は 9 項目だった。「2 学校は、教育方針や課題を分かりやすく伝えている。」、「8 学校は、教育に必要な情報を 知らせる努力をしている。」、「9 学校は、家庭と連携して指導にあたっている。」、「10 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」、「11 学校は、安全面で施設、設備の環境整備を行っている。」、「12 学校の幼児児童生徒指導の方針に共感できる。」、「14 学校は、将来のことや進路などについて適切な指導を行っている。」、「16 学校は、聴覚障がいに関わる関係機関や医療機関等と連携して、指導にあつたっている。」、「17 学校は、いじめについて 子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」
 - 前年度比較で、否定率の変化が 10 ポイント以上増加した項目はなかった。

(3) 中学部保護者

- 肯定率の全体平均は前回と同じく 85.3%であった。否定率の全体平均は 12.1%で前回の 8.8%から 3.3 ポイント増加した。
- A 項目だけで 60%を超えた項目は 1 項目であった (前回も 1 項目)。「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(72.2%)
- 肯定率 90%以上の項目は 4 項目に減少した (前回 5 項目)。「3 子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。」(94.4%)、「9 学校は、家庭と連携して指導にあたっている。」(94.4%)、「11 学校は、安全面で施設、設備の環境整備を行っている。」(94.4%)、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(100%)
- 否定率が 20%を超える項目は 3 項目に増加した (前回 1 項目)。「2 学校は、教育方針や課題を分かりやすく伝えている。」(22.2%)、「15 子どもは給食を楽しみにしている。」(27.8%)、「16 学校は、聴覚障がいに関わる関係機関や医療機関等と連携して、指導にあつたっている。」(22.2%)。
- 前年度比較で、肯定率の変化が 10 ポイント以上増加した項目は 2 項目だった。「1 学校は、体罰防止にとりくんでいる。」、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」
- 前年度比較で、否定率の変化が 10 ポイント以上増加した項目は 4 項目だった。「6 学校は、子どもの学習状況や努力を 適切・公平に評価している。」、「10 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」、「15 子どもは給食を楽しみにしている。」、「17 学校は、いじめについて 子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」

(4) 保護者 (全体)

- 肯定率の全体平均は、89.1%で前回の 86.5%から 2.6 ポイント増加した。否定率の全体平均は 8.3%で前回の 9.7%から 1.4 ポイント減少した。
- A 項目だけで 60%を超えた項目は 2 項目に減少した (前回 4 項目)。「5 学校は、子どもの聴覚障がいの状態を理解している。」(66.3%)、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」(82.6%)
- 肯定率が 90%を超える項目は 8 項目であった (前回も 8 項目)。「3 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。」、「5 学校は、子どもの聴覚障がいの状態を理解している。」、「6 学校は、子どもの学習状況や努力を適切・公平に評価している。」、「7 学校は、保護者の悩みや相談を聞いてくれる。」、「9 学校は、家庭と連携して指導にあたっている。」、「10 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。」、「11 学校は、安全面で施設・設備の環境整備を行っている。」、「13 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」
- 否定率が 20%を超える項目は前回と同様になかった。
- 前年度比較で、肯定率、否定率ともに、変化が 10 ポイント以上増加した項目はなかった。

4 教職員 結果分析

- 肯定率の全体平均は 85.2%で、前回の 84.6%から 0.6 ポイント増加した。否定率の全体平均は 13.1%で、前回 13.4%から 0.3 ポイント減少した。
- A 項目だけで 60%を超えた項目は 1 項目だった（前回も 1 項目）。「16 けがや病気の時、やさしく適切に子どもに対応、看護している。」(61.2%)
- 肯定率が 90%を超える項目は 8 項目に減少した（前回 12 項目）。「1 本校は、体罰防止に取り組んでいる。」(97.0%)、「5 施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。」(92.5%)、「10 幼児児童生徒の指導において、家庭との緊密な連携ができています。」(95.5%)、「11 学校は、個別の教育支援計画、指導計画に基づき、工夫・改善しながら、幼児児童生徒の指導にあたっている。」(92.5%)、「12 児童生徒の指導について、関係教員間でよく話し合っている。」(95.5%)、「13 児童生徒が楽しく行事に参加できるよう、工夫・改善を行っている。」(95.5%)、「16 けがや病気の時、やさしく適切に子どもに対応・看護している。」(100%)、「17 教育活動に必要な情報を積極的に収集し、幼児児童生徒や保護者への周知に努めている。」(91.0%)
- 否定率が 20%を超える項目は 5 項目に増加した（前回 3 項目）。「3 学校運営に、教職員の意見が反映されている。」(25.4%)、「7 医療や福祉関係機関との連携が活発に行われている。」(23.9%)、「8 近くの学校や地域の人々との交流や連携が活発に行われている。」(41.8%)、「21 学校経営計画を踏まえ各部署の一体化が進められている。」(29.9%)、「22 教育相談体制が整備されており、幼児児童生徒は担任以外の教職員とも相談することができる。」(22.4%)
- 前年度比較で、肯定率が 10 ポイント以上増加した項目は 2 項目だった。「8 近くの学校や地域の人々との交流や連携が活発に行われている。」、「15 防災教育・安全指導が十分行われている。」
- 前年度比較で、否定率が 10 ポイント以上増加した項目はなかった。